

令和7年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,041	9,479	4,762	4,717	△ 1	△ 9
2 千 石	4,261	6,960	3,487	3,473	△ 17	△ 20
3 内 山	5,932	8,133	4,374	3,759	△ 6	△ 11
4 大 和	3,675	6,703	3,331	3,372	△ 18	△ 15
5 上 野	7,522	15,316	7,473	7,843	△ 13	△ 31
6 高 見	7,618	13,487	6,401	7,086	12	7
7 春 岡	7,390	11,287	5,991	5,296	△ 1	△ 6
8 田 代	11,419	21,933	10,509	11,424	△ 12	△ 24
9 東 山	10,424	18,990	9,272	9,718	△ 6	△ 30
10 見 付	4,568	8,376	4,214	4,162	△ 9	△ 25
11 星 ケ 丘	3,618	6,817	3,026	3,791	△ 14	△ 23
12 自 由 ケ 丘	3,544	7,044	3,186	3,858	△ 11	△ 22
13 富 士 見 台	6,531	14,956	6,792	8,164	0	△ 11
14 宮 根	3,834	7,883	3,629	4,254	10	4
15 千 代 田 橋	3,776	8,069	3,771	4,298	△ 8	△ 12
千 種 区 計	90,153	165,433	80,218	85,215	△ 94	△ 228
R6. 3. 1	88,847	164,979	80,061	84,918	△ 10	△ 129
対 前 年 比	1306	454	157	297	△ 84	△ 99
名 古 屋 市	1,177,475	2,330,376	1,143,597	1,186,779	284	△ 1,037
愛 知 県 (R7. 2. 1)	3,372,592	7,456,470	3,712,408	3,744,062	△ 95	△ 4,641

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	69	147	△ 78	810	960	△ 150

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の人口密度の概況

今回は令和6年10月1日現在の各区と千種区の各学区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

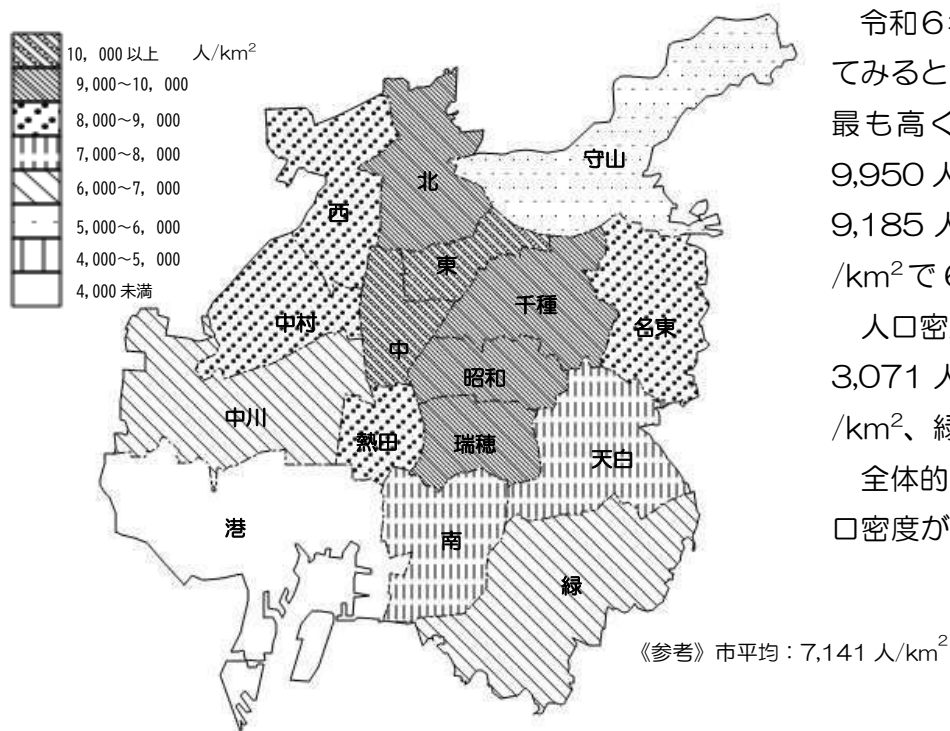


図 1: 区別人口密度（令和6年10月1日現在）

令和6年10月1日現在の区別人口密度を見ると（図1）、東区が11,425 人/km²と最も高く、中区 10,967 人/km²、昭和区 9,950 人/km²、瑞穂区 9,611 人/km²、北区 9,185 人/km²、と続き、千種区は 9,102 人/km²で6 番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が 3,071 人/km²で最も低く、守山区 5,183 人/km²、緑区 6,533 人/km²と続きます。

全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

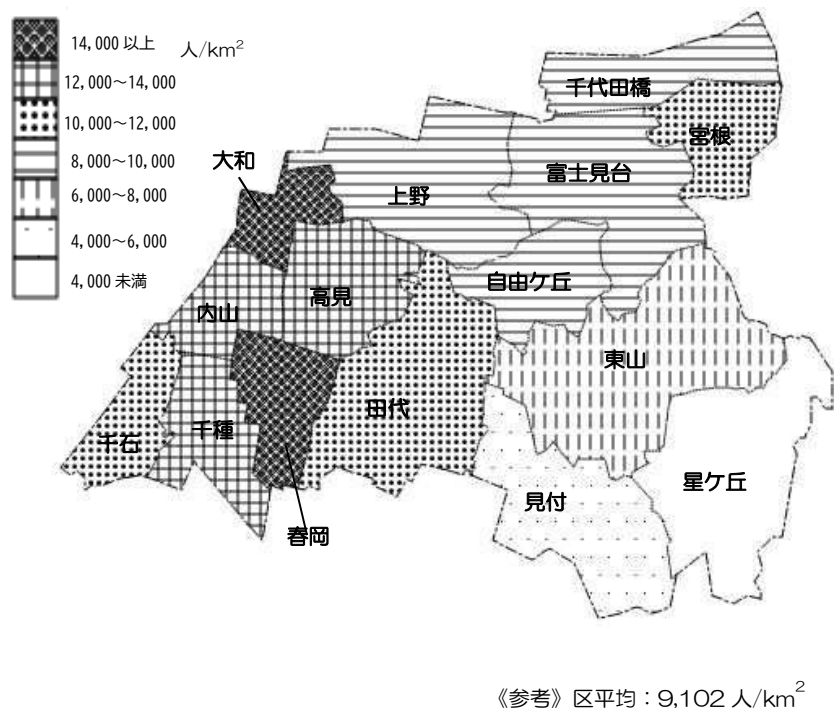


図 2: 千種区の学区別人口密度（令和6年10月1日現在）

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。令和6年10月1日現在の千種区の学区別人口密度が高い順に春岡（15,253 人/km²）、大和（14,198 人/km²）、内山（13,335 人/km²）、高見（12,610 人/km²）、千種（12,543 人/km²）の順となっています。

人口密度が低いほうから見てみると星ヶ丘（3,219 人/km²）、見付（5,406 人/km²）、東山（7,873 人/km²）、上野（8,405 人/km²）、千代田橋（8,575 人/km²）の順となっています。

全体的に見てみると、区の西側の学区において人口密度が高く、区の南東側の学区において低くなっていることが分かります。